

2024年度賃金のペースアップ! 明日への希望が持てる賃金実現! 人の心と生きがいを取り戻し、未来(あす)の雇用を考え、 真の笑顔と活気あふれるJR東日本グループをつくり上げる3・2大集会

550名を超える
仲間が結集!

すみだリバーサイドホールにて

これが
職場の
声だ!

- ◇ 「融合と連携」により担務変更が多くなり、私たちの労働力は高まっている。高まった労働力に見合った賃金引き上げを堂々と求めていく!
- ◇ 組合員一人ひとりが要求額とその根拠を考える一歩運動をつくり出した。組合員の権利意識は高まっている!
- ◇ 職場の課題解決を通じて、輸送サービス労組の組織拡大を目指す!
- ◇ JR東日本本体からの業務委託費の削減に伴い、要員が減らされている。劣悪な労働環境と物価上昇による実質賃金の低下で働く意欲は低下する一方だ!
- ◇ 「新たなジョブローテーション」施策による希望しない転勤による手当の減額によって賃金が低下。業績予想を上方修正するぐらい好調なら、私たちが当たり前のできる賃金引き上げの実現を!
- ◇ 会社が掲げる「想定外を想像する」ためには長年の経験が必要。経験労働を軽視する「新たなジョブローテーション」施策の撤廃を求める!

ペースアップは“物価上昇分を考慮した生活維持・向上分、”という性質は変わらない!
すべての仲間の声を積み上げ、2024年度賃金ペースアップを実現しよう!

2024年度賃金のベースアップ! 明日への希望が持てる賃金実現! 人の心と生きがいを取り戻し、未来(あす)の雇用を考え、 真の笑顔と活気あふれるJR東日本グループをつくり上げる3. 2大集会

集会アピール

本日、JR東日本輸送サービス労働組合とジェイアールバス関東労働組合は、すみだリバーサイドホールにおいてJTSUに結集するすべての仲間と共に「2024年度賃金のベースアップ! 明日への希望が持てる賃金実現! 人の心と生きがいを取り戻し、未来(あす)の雇用を考え、真の笑顔と活気あふれるJR東日本グループをつくり上げる3. 2大集会」を連帯して開催した。「賃金は“労働力の再生産費”であり、ベースアップは“物価上昇分を考慮した生活維持・向上分”という性質は不変」という賃金の本質を大前提に

- 【輸送サービス労組 ⇒ JR東日本】
 - 定期昇給：昇給係数「4」完全実施、所定昇給額2,000～3,000円の増額
 - ベースアップ：全社員一律 3,000 円 + 基本給の定率 5% (定期昇給を含まない)
 - エルダ-基本賃金：一律 18,000 円加算
- 【輸送サービス労組 ⇒ JR東日本ステーションサービス及びJR東日本運輸サービス】
 - 定期昇給：昇給係数「4」完全実施、所定昇給額1,000～2,000円の増額 (JESS) 定期昇給の実施 (JETS)
 - ベースアップ：全社員一律 18,000 円 (定期昇給を含まない)
 - 特別手当：一律100,000 円
- 【バス関東労組 ⇒ ジェイアールバス関東】
 - 定期昇給：定期昇給の完全実施、所定昇給額及び昇給基礎額1,000円の増額
 - ベースアップ：(契約社員Aを含む) 全社員一律 13,000 円 (定期昇給を含まない)
 - 特別昇給：2021年4月に削減された定期昇給分4分の2

を堂々と要求した。

新型コロナウイルスの感染拡大によりモノやサービスの提供が滞り、またロシアによるウクライナ侵攻により、2021年から円安と日本が輸入する物価の相場が大きく上昇した。私たちは、今なお続く物価高において実質賃金マイナスに歯止めをかけ、これ以上の人財流失を止めるためにも他業種・他社に見劣りしない賃金引き上げ・ベースアップが必要だ。

厚生労働省は「実質賃金は2年連続でマイナス」と発表し、物価高に賃金上昇が追い付いていないことを明らかにし、岸田首相や経団連も「物価上昇に負けない賃金引き上げを目指すことが経団連・企業の社会的責務」と表明していることからして、賃金引き上げの機運が高まっている。今こそ生涯賃金に大きな影響を与える“定期昇給”と物価高に負けない“ベースアップ”“労働三権”の重要性と本質的な意味を再認識し、職場からのあらゆるたたかいの高揚で、新しい知識・技術・技能を習得して高まった私たちの労働の質と能力に相応しい賃金引き上げを仲間の総力で実現しよう!

現在、JR東日本、ジェイアールバス関東会社は、社会の常識より組織の掟が優先され、人権・人格をも否定する「人が壊れてゆく組織・職場」となっている。労働組合弱体化が目論まれた「新たなジョブローテーション」施策では、安全・サービスレベルの低下のみならず、組合員・社員の家庭状況を考慮することなく、一方的な異動によって精神的負担を強いられ、休職・退職にまで追い込まれるなど組合員に実害が出ている。これは、ILO (国際労働機関) が提唱するディーセントワーク (働きがいのある人間らしい仕事) とはかけ離れており「人権侵害」そのものだ。従って、組合員・社員の生活と幸せを破壊する「新たなジョブローテーション」施策は撤廃を求めていく。また、深刻な人財不足で全国的にバス路線の減便や廃止が相次ぐ中、今春、2024年問題に直面するジェイアールバス関東は、改善基準告示改正による勤務間インターバル確保や労働時間が引き下げられる一方で、生産性向上のためのIT遠隔地点呼導入や行路再編、支店機能の見直しなどで労働密度が濃くなり、過労防止とは真逆の現実となっている。地域社会に信頼され必要とされる鉄道とバスを走らせ、地域と共生していく輸送サービスとするために、私たち労働者を“個”にする分断が画策されている労組対策のみを重視する傲慢な経営姿勢を是正し、健全な経営と事故やミスの真の再発防止に向けた対策を実現していく労働組合の役割を果たしていこう。

すべての組合員が主役となり、2024年度賃金のベースアップを実現しよう! 明日への希望と真の笑顔と活気あふれる職場を実現するために、豊かさと魅力があふれ働き続けられる企業価値・職場風土を構築しよう! そして、JTSUへの結集を堂々と呼びかけ、結成から節目の5年目を迎える組織の更なる飛躍をかつとろう!

2024年3月2日
2024年度賃金のベースアップ! 明日への希望が持てる賃金実現!
人の心と生きがいを取り戻し、未来(あす)の雇用を考え、
真の笑顔と活気あふれるJR東日本グループをつくり上げる3. 2大集会

誰もが安心してJR東日本グループをつくり上げるために
輸送サービス労組運動を堂々と推し進めよう!